

第 13 回 九州国語教育学会 福岡大会

日時 2025 年 9 月 13 日（土）受付 10：00 研究発表 10:25-17:15

会場 福岡教育大学・人文社会教棟・人文社会講義室

司会 山元 悦子（福岡教育大学）

1 吉田 浩一（九州女子短期大学）

子ども文学学校オンラインの構想と展開
～2024 年度の実践報告～

2 梶原 佑心（福岡教育大学 教職大学院）

一行詩の取引による共有空間としての詩と

＜煮込むような＞コミュニケーションの射程に関する研究

— Louise M. Rosenblatt の“transaction”を中心に —

3 楠原 克浩（佐賀大学学校教育学研究科（佐賀市立新栄小学校））

子どもたちと共創する学習評価のあり方

— 小学校国語科における自律的な学び手を育成するための実践 —

4 大坪 みゆき（佐賀大学学校教育学研究科（みやき町立中原小学校））

リテラチャー・サークルを通して読む力をつける国語科単元の開発

— 小学 6 年生を対象とした授業実践を通して —

司会 立石 泰之（筑紫女学園大学）

5 小田 康陽（大分大学教職大学院・院生）

せんせいあのね実践の検討

— 現象学を手がかりとして —

6 原田 大樹・竜田 徹・毛利 泰剛（西南学院大学 佐賀大学 福岡女学院大学）

国語科教育における言語調整能力の育成に関する検討

～ 小学校 5 年生への調査・分析を中心に ～

7 東寺 祐亮（日本文理大学）

国語科教育法における「言葉」の学習

8 花坂 歩（大分大学）

「もの語り」性と情動および連鎖について

司会 原田 大樹（西南学院大学）

9 出雲 俊江（広島女学院大学）

女学校「読本」における短歌の掲載について

—吉田彌平他編『女子国語読本』四訂十三版の場合—

10 渡辺 春美（高知大学名誉教授）

戦後漢文教育論の展開

—江連隆の漢文教育論の場合—

11 前田 眞澄（福岡教育大学名誉教授・福岡県立香住丘高等学校）

シュミレーターにおける心理学的な思考力育成の意義

—ヘルバルトの表象機構論の展開をふまえて—